



今回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
 身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
 団情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)



▲ 笑い声が絶えない「サマー・フレンドシップ・クラブ」

マッテスさん ▶



「難しいけど、楽しい手話奉仕員養成講座」

おちあいのりこ
 落合典子さん(竹ヶ鼻町)

私は小売店で販売員をしています。いろいろなお客様が来られ、その中には聴覚に障害のある人もおられます。そういったお客様が、気持ち良く買い物をしていただける手伝いができるようにと思い、「手話奉仕員養成講座」に参加しました。
 この講座は、手話の初心者ですが、手話で日常会話ができるようになることを目標に開催され、12月まで23回の講座が予定されています。
 講座は、大切なポイントでは手話通訳者による通訳がありますが、大半は聴覚障害者の講師の手話で進められます。このため、40人の参加者は、講師の説明を理解するのにてんてこまいです。そ

れでも、みんなが理解できるように、丁寧に、何度でも教えてくださるため、とても楽しく手話を学ぶことができます。手話に初めて触れる人も多いので、2回目の講座では「ジェスチャーゲーム」を通じて、言葉を使わず、身振りで人に伝えることを学びました。
 最初の講座で、「手話と同じくらい、伝えたいという気持ちが大切」という話がありました。私は、この言葉を忘れず、楽しく手話を学び、講座が終わった後も、仕事やボランティア活動に役立つようと思っています。

落合さん ▶

▼ 身ぶりを使って表現する練習



「英語と日本語、2つの言葉で国際交流しませんか」

エミリー・マッテスさん(ミシガン州グランドラピッズ市)

彦根市の皆さんこんにちは。
 私は米国ミシガン州にあるカルビン大学の4年生です。私は、大学で約3年間日本語を勉強してきました。今回は、日本語や日本文化の勉強と、彦根市の皆さんとの交流を深めるために、6月末に、3人の仲間といっしょに彦根市へやって来ました。

私たちは、7月始めから約1か月半にわたって、市役所や彦根市国際協会にて研修をしています。市役所では日本の行政の仕事を見学したり、体験したりしています。

また、国際協会が開催している「サマー・フレンドシップ・クラブ」にも週に2〜4回参加して、市民の皆さんと交流を深めました。このクラブには高

校生や主婦など約50人が参加して、映画や食べ物などを話題に、みんなで楽しく英語で会話をしています。このほか、秋に姉妹都市であるアナーバー市に派遣される市内の中学生14人の英会話研修にも参加して、中学生たちに英会話やアメリカの文化などを教えています。

英語やアメリカの文化を教えるということはそれほど簡単ではありませんが、たくさんの人と知り合うことができ、楽しくやりがいいことです。

私たちは、8月半ばまで、市内でホームステイをしていて、8月8日には「彦根ばやし総おどり大会」にも参加します。もし、まちで私たちを見たら、英語でも日本語でも結構ですので、ぜひ声をかけてください。